

オンラインで美術鑑賞 ～SOMPO美術館からお届けします！～

ファシリテーション用台本

Vol.5 《スレイプニルにまたがるオーディンのタピスリー》《ユルステルの春の夜》



SOMPO美術館
Sampo Museum of Art



SOMPO美術館オンライン アートにふれる 10分間

Vol.5

作品紹介のプリントを配布します。

《スレイプニルにまたがるオーディンのタピスリー》

ガーラル・ムンテ

スウェーデン国立美術館

《ユルステルの春の夜》

ニコライ・アストルプ

ノルウェー国立美術館



ファシリテーター(F):これから作品鑑賞を始めます。

ナレーションを聞きながら、作品を見てください。

画面の右側に文字が出ます。

そちらも見ながら進めてください。

ポイント！

- 作品が良く見える場所に座してもらいましょう。
- スピーカーの音量も確認しましょう。



(F): 作品をしっかり見てください。
しばらく時間を取りますのでじっくり見てください。



ヒント1.
見たものは、
どんな形をしていますか？

ヒント2.
見たものは、
どんな色をしていますか？

(F) : ヒントが2つあります。

1. 見たものの「形」
2. 見たものの「色」

を意識しながら見てみましょう！

見たもの・見つけたものを後から聞きますね。

ポイント！

作品をただ漠然と見るのは難しいことです。
「形」「色」に注目してもらうことで、じっくり見ることができます。



(F):見つけたものを教えてください。
しばらく時間を取りますのでじっくり見てください。

ポイント！

手を挙げてもらう
順番に聞いていく など感想を集める方法はさまざまです。

- ・どんな意見が出たかを鑑賞者全員に向けて復唱しましょう。
- 参加者(鑑賞者)は自分以外の意見に気づくことができます。
- ・「〇〇さんはこんなことに気づきましたが、皆さんも気づきましたか？」
- ・「他にも見つけたことがある人はいますか？」

重要！

「受容」が大事！

「なるほど！」「確かに！」「よく見つけましたね。」
「細かいところまで見てくださいました。」
「教えてくれてありがとうございます。」うなづく

など・・・



(F):見つけたものを確認していきましょう。

前半

- ・「人に注目してみましょう」(帽子・服装・靴)
- ・「真ん中」(馬⇒たてがみ・たづな・鳥はカラス？)

後半

部分を拡大して見せていきます。
前半で出た意見を再確認してください。
①男性の顔 ②馬の部分(足) ③やり ④拝見 ⑤作品のふさ

ポイント！

- ・鑑賞者からの意見がどの部分をさしているのか全員で確認をしてみましょう。
「〇〇さんが見つけたものはここですか？」
「皆さんはどう思いますか？」
などのキャッチボールがあると、鑑賞者にまとまりが出てきます。
- ・自分が気づかなかったことに気づくタイミングです。深く広い鑑賞になります。



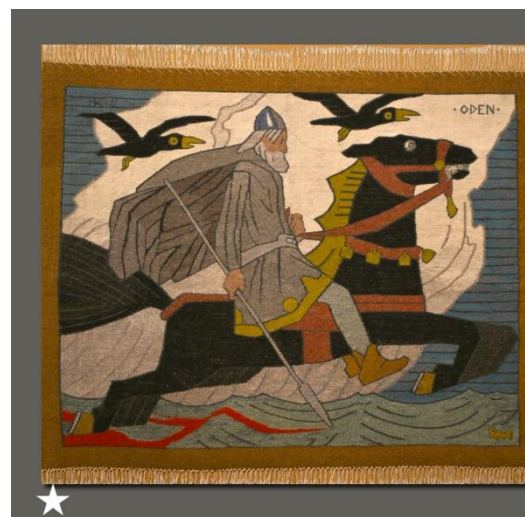
(F): 見たものを心で感じてみましょう。

どう感じましたか？

どうしてそう思いましたか？

ポイント！

- 感じたことを自由に話してもらいましょう。
- 理由を考えさせることが大事。
ただ見るだけでなく、見つけたり、考えたりすることで
深い鑑賞を体験してもらうことができます。
「どうしてそう感じましたか？」
「どこからそう感じましたか？」



ヒント3.
どんな感じがしますか？

ヒント4.
どうしてそう思いましたか？

(F): ヒントが2つあります。

3. 作品を見て「どんな感じがしますか？」
4. 作品を見て「どうしてそう思いましたか？」

- ・「男性の左手」
- ・「作品の上部 鳥たちの様子」
- ・「作品全体」

ポイント！

見たものから心の動きを確認してもらう問いかけです。



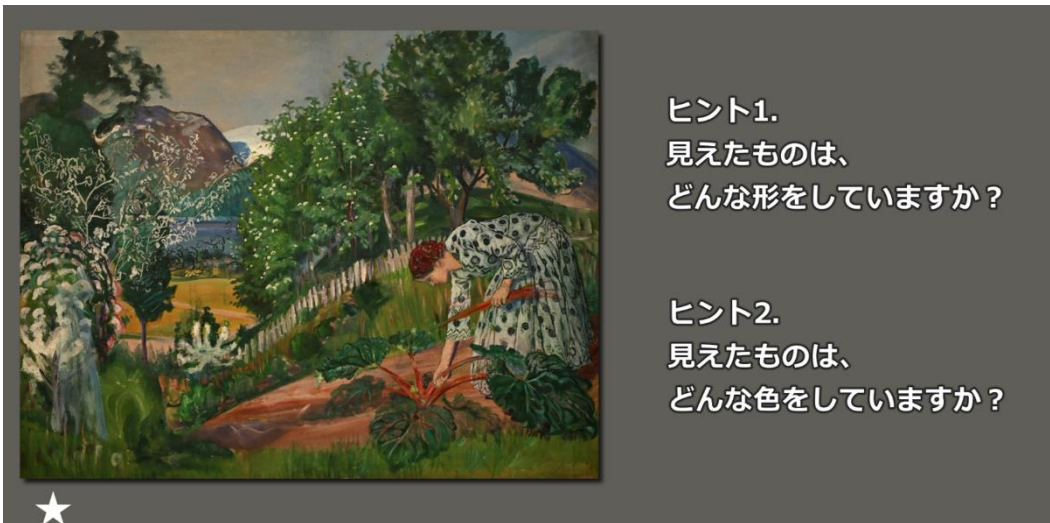
ファシリテーター(F): こちらの作品鑑賞を始めます。
ナレーションを聞きながら、作品を見てください。
画面の右側に文字が出ます。
そちらも見ながら進めてください。

ポイント！

- 感じたことを自由に話してもらいましょう。
- 理由を考えさせることが大事です。



(F): 作品をしっかり見てください。
しばらく時間を取りますのでじっくり見てください。



ヒント1.
見えたものは、
どんな形をしていますか？

ヒント2.
見えたものは、
どんな色をしていますか？

(F) : ヒントが2つあります。

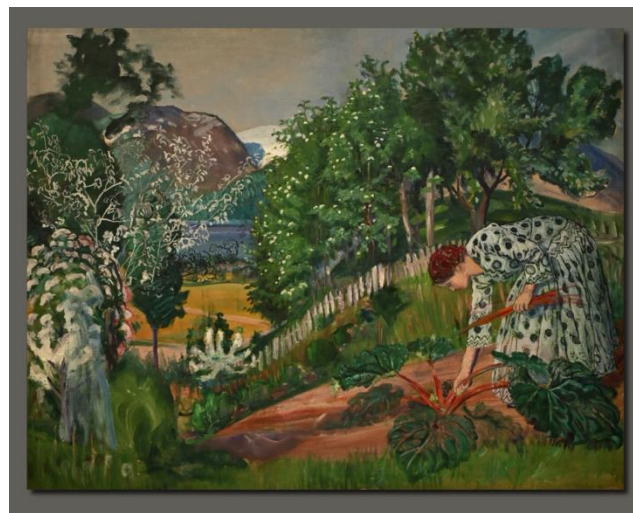
1. 見えたものの「形」
2. 見えたものの「色」

を意識しながら見てみましょう！

見えたもの・見つけたものを後から聞きますね。

ポイント！

作品をただ漠然と見るのは難しいことです。
「形」「色」に注目してもらうことで、じっくり見ることができます。



(F) : 見つけたものを教えてください。

ポイント！

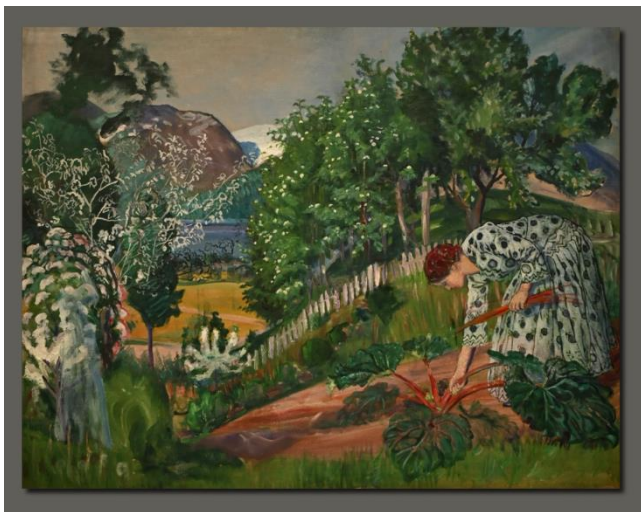
- 手を挙げてもらう 順番に聞いていく など感想を聞き出す方法はさまざまです。
- どんな意見が出たかを鑑賞者全員に向けて復唱しましょう。
参加者(鑑賞者)は自分以外の意見に気づくことができます。
・「〇〇さんはこんなことに気づきましたが、皆さんも気づきましたか？」
・「他にも見つけたことがある人はいますか？」

重要！

「受容」が大事！

「なるほど！」「確かに！」「よく見つけましたね。」
「細かいところまで見てくださいました。」
「教えてくれてありがとうございます。」うなづく など...

13 ㊦ 16:43 【★】



(F) :一緒に細かく見ていきましょう。

前半

- ・「女性の服装」
- ・「木」
- ・「地面に近い植物」
- ・「女性の動作」

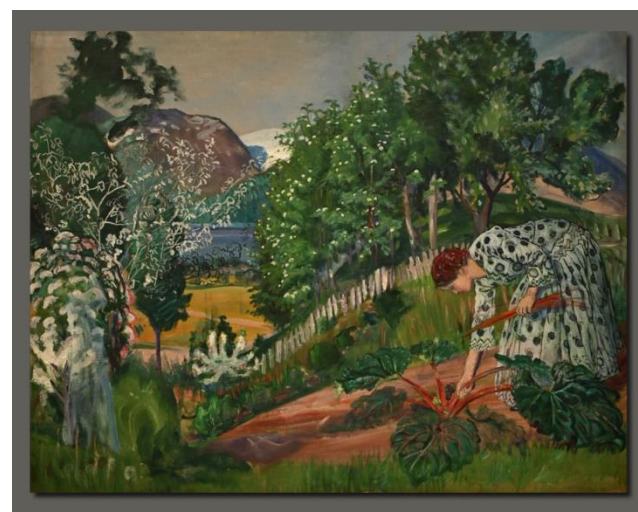
後半

部分を拡大して見せていきます。

前半で出た意見を再確認してください。

①山の奥の雪山 ②道の右側

14 ㊦ 18:23 【★】



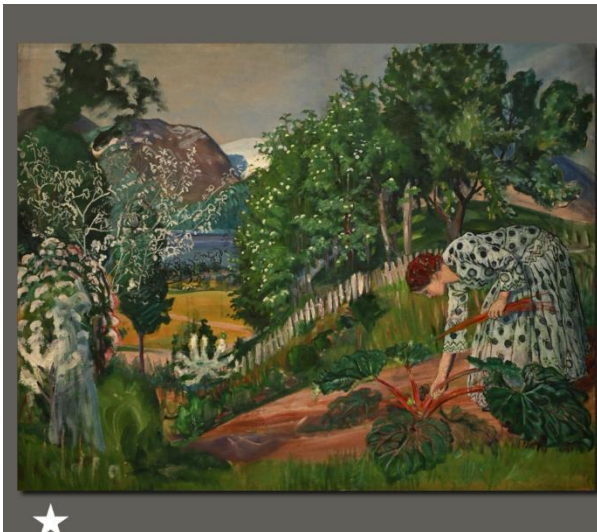
(F) :見えたものを心で感じてみましょう。

どう感じましたか？

どうしてそう思いましたか？

ポイント！

- ・ 感じたことを自由に話してもらいましょう。
- ・ 理由を考えさせることが大切です。
ただ見るだけでなく、見つけたり、考えたりすることで
深い鑑賞を体験してもらうことができます。
「どうしてそう感じましたか？」
「どこからそう感じましたか？」



ヒント3.
どんな感じがしますか？

ヒント4.
どうしてそう思いましたか？

(F): ヒントが2つあります。

3. 作品を見て「どんな感じがしますか？」
4. 作品を見て「どうしてそう思いましたか？」

- ・「左側の白い木」
- ・「黒い木」

ポイント！

- ・ 見たものから心の動きを確認してもらう問いかけです。
- ・ 見えたものから想像することも大事です。



(F): 作品は鑑賞者が自由に見ることができます。

自由に見て

自由に感じてください。

「これからもシリーズで作品を紹介していきます。楽しみに。」

ポイント！

- ・ 作品の背景を知ることだけでなく
ご自身の感性を使ってみることで十分深い鑑賞をすることができます。
- ・ また、周りの人が見たもの、見つけたもの
感じたこと、さらに考えたことを聞きあうことで
さらに深い鑑賞となります。